

◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

<p>発言通告書</p> <p>下記の通り、発言したいから通告します。</p> <p>令和7年3月4日</p> <p>土佐町議会議長 和田賢二様</p> <p>(議席番号) 2番 (氏名) 和田義嗣 </p>		<p>令和 年 月 日 午前 時 分 受付 午後 時 分 受付</p> <p>(受付印)</p> <p>発言順位No. </p>
番号	発言の要旨	答弁者
質問事項	<p>地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に基づく対策は。(令和3年法律第40号。「標準化法」という。)</p> <p>(内容)</p> <p>1. 土佐町に於ける一般会計のシステム関連の維持管理、運用に於ける経費の概算は、R5/H27が2.1程度となるが事実か。是正が必要では。</p> <p>2. 今回の情報システムの標準化、共通化の背景には「職員が企画立案業務や住民への直接サービス、コスト削減、ICT、AI技術の涵養等。」とされる。</p> <p>3. 標準化対象業務は政令(令和4年度デジタル庁令、総務省令第1号)児童手当等の20業務が定められている。具体的な業務名は。</p> <p>4. 地方公共団体は、令和7年度までにガバメントクラウドを活用した標準準拠システムに移行することを目標とする。とされるが、実務上に於いて予算、工程、人員配置等において実施可能か否か。</p> <p>5. 地方行政に於いては、自治体DX活用となるが、職員の技量向上対策が急務となるが対応は。</p>	町長
質問事項	<p>旧小学校区の地域の人口動態に応じた定住に必要な具体的施策は。(黒丸、南川、石原、地蔵寺、平石、森及び和田、相川、田井等)</p> <p>(内容)</p> <p>1. 黒丸、南川地域に対する対策は。人口、世帯。R5/H1=26.7% R5/H1=43.2%</p> <p>2. 石原に対する対策は。人口、世帯。R5/H1=47.1% R5/H1=75.4%</p> <p>3. 地蔵寺、平石に対する対策は。人口、世帯。R5/H1=53.8% R5/H1=78.4%</p> <p>4. 森、相川、和田等に対する対策は。人口、世帯。R5/H1=63.6% R5/H1=99.4%</p> <p>5. 伊勢川、田井、溜井、中島等に対する対策は。人口、世帯。R5/H1=66.0% R5/H1=95.8%。ダム建設により、多くの方々の集団移転が発生している。</p> <p>6. 土佐町の総生産額(百万円)と総人口(人)との相関係数=0.82だが所見は。</p>	町長
質問事項	<p>町有林を活用しての、奨学金の貸付金額等の増額を検討すべきだ。</p> <p>(内容) (1)高等学校の場合は、月額18,000円 (2)県内大学の場合は、月額26,000円 (3)県外大学の場合は、月額28,000円 その他の場合は、これに準ずる。(4)就学準備金の給付。一律30,000円。</p>	町長

1. 質問の要旨は、具体的に記入すること。

2. 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

発 言 通 告 書 下記の通りの発言を希望するため、ここに通告します。 令和7年 3月 4日 土佐町議会議長 和田 賢二 様 (議席番号) 3番 (氏名) 鈴木大裕 		令和 年 月 日 午前 時 分 受付 午後 時 分 受付 (受付印) 受付 第 号 7.3.4- 土佐郡 土佐町 議会 発言順位No. 2
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	質問事項 高知県は、県政の3本の軸の一つとして、「グローバル化」を掲げている。土佐町のグローバル戦略を問う ① 土佐町は昨年、初の外国人（エストニア）の地域おこし協力隊を迎えたが、その手応えと今後の課題は。 ② 中山間地域としては珍しく、土佐町には多くの海外出身の人たちが暮らしている。また、今後はエストニアなどからのインバウンド観光客の増加も期待される。県が掲げるグローバル戦略を視野に、海外の方に日本の言葉や文化を教える講師を町で雇用できないか。 ③ 営農指導員のもとで、土佐町の耕作放棄地の解消と日本の先進的な農業を母国に伝えることを任務とした、ネパールなどの発展途上国からの地域 おこし協力隊を雇用できないか。 【プロジェクター及びスクリーンの使用（有）】	町長 企画推進課長 農畜林振興課長
2	質問事項 カヌーの取り組みについて ① ラヨシュコーチの日本代表監督就任に伴う体制刷新の影響は ② 高校魅力化の軸としてのカヌーの取り組みは ③ カヌーを通じた国際親善の可能性は 【プロジェクター及びスクリーンの使用（無）】	副町長
3	質問事項 教育課題のその後 ① 来年度の免許外教科担任（免許を保有しない教科の指導を命ぜられる教員）の状況は ② 教員の労働環境は子どもの学習環境。教員の過重労働が社会問題化するなか、文科省は余剰時数（国が定める標準授業時数を上回る授業時数）の削減を呼びかけた。土佐町は県内でも先駆的に余剰時数の削減に取り組んできたが、来年度に土佐町小中学校で計画されている余剰時数は。もし 計画されているならば、その目的は ③ 土佐町小中学校の職員に対する労働基準法違反の解消に向けた取り組みは 【プロジェクター及びスクリーンの使用（無）】	教育長

◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

<p>発 言 通 告 書</p> <p>下記の通り、発言したいから通告します。</p> <p>令和 7年 3月4日</p> <p>土佐町議会議長 和田 賢二 様</p> <p>(議席番号) 5 番 (氏名) 氏次真貴夫 </p>		<p>令和 年 月 日</p> <p>午前 時 分 受付</p> <p>午後 時 分 受付</p>
		<p>(受付印) 受付</p> <p>第 号</p> <p>7.3.4-</p> <p>土佐郡 土佐町 議</p>
		<p>発言順位No. 3</p>
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
	<p>質問事項 今後の土佐町林業政策の方向性は</p> <p>(内容)</p> <p>① 土佐町森林ビジョンを今後の林業政策判断や事業推進にどう活かすのか。森林所有者、自伐林業家、森林組合、学校やコミュニティでの環境教育など、住民の意識向上や協力体制をどのように築くのかお伺いします。</p> <p>② 森林経営管理法に基づく森林経営についての意向調査の進捗状況は。また、今後の計画と課題についてお伺いします。</p> <p>③ 協力隊員のスキルアップ、キャリア形成を支援するために、どのような研修プログラムを考えられていますか。</p>	町 長
	<p>質問事項 地域ポイント制度の導入を</p> <p>(内容)</p> <p>① 町内店舗での買い物や、公共施設、バス利用、ボランティア参加でポイントがたまる地域ポイント制度を導入してはどうか。住民の社会活動と地域経済が好循環し行政もポイント付与による政策誘導が可能となるのではないかと。町長の見解をお伺いします。</p>	町 長
	<p>質問事項 まちの水道インフラの現状と今後について問う</p> <p>(内容)</p> <p>① 上下水道の老朽化による漏水事故は年間何件発生していますかまた、修繕に係る費用は具体的にいくらになっていますか。</p> <p>② 水道管の更新について、優先順位や年次計画は立てられていますか。また、更新に係る総事業費の試算と財源の確保についてはどのようにお考えですか。</p> <p>③ 水道施設の更新に関して、国の補助金や交付金の等の支援制度の活用をどのように考えていますか。</p>	町 長

第一日目の散会時刻までに提出してください。

発 言 通 告 書		令和 7 年 3 月 4 日 午前 午後 時 第 分 受 付 印
下記のとおり、発言したいから通告します。		7.3.4 (受付印) 土佐郡 佐田町議
令和 7 年 3 月 4 日 土佐町議会議長 和田 賢二様		
(議席番号) 9番 長 野 保		発言順位 NO.4
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
質問事項	さめうら温泉（仮称）建設計画を問う	町 長
1	(内容) さめうら温泉建設計画があるが、町の本気度を問う。 温泉は町の観光にとって大変重要な施設となることは間違いない。 現在観光協会で温泉を中心とした街づくり計画が進められようとしている。 町としてもこの計画に積極的に取り組み、「まちづくり」を視野に入れた、プロジェクトチームを立ち上げるなどまちをあげた取り組みが必要と考えるが町長の考えを問う。	
2	温泉発掘費用には「まちづくり応援基金」を活用	
3	新幹線「さめうら駅」からさめうら温泉へ！ あらたな観光資源の活用を！	
プロジェクトの使用		無
1 質問の要旨は具体的に記載すること。		
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査員とすること。		

4

◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

5

<p>発 言 通 告 書</p> <p>下記の通り、発言したいから通告します。</p> <p>令和 7 年 3 月 4 日</p> <p>土佐町議会議長 和田 賢二 様</p> <p>(議席番号) 8 番 (氏名) 式地堂志朗 </p>		<p>令和 年 月 日</p> <p>午前 時 分 受付</p> <p>午後 時 分 受付</p> <p>(受付印)</p>  <p>受付 第 号 7.3.4- 土佐郡 土佐町 議</p>
<p>発言の要旨</p>		<p>発言順位No. 5</p>
番号		答 弁 者
質問事項	<p>農業担い手不足、外国人労働者雇用に向けた取組は。</p> <p>(内容)</p> <p>担い手不足への対応は？ 外国人による農業支援と労働者対策は。 新規就農定着支援事業の利用はできるのか。(外国人雇用対策)</p>	町長
	<p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (有 ・ 無)</p>	
質問事項	<p>農地貸借制度 変更具体的内容</p> <p>(内容)</p>	町長
	<p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (有 ・ 無)</p>	
質問事項	<p>(内容)</p>	
	<p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (有 ・ 無)</p>	

1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

<p>発 言 通 告 書</p> <p>下記の通りの発言を希望するため、ここに通告します。 令和7年3月4日</p> <p>土佐町議会議長 和田 賢二 様 (議席番号) 4番 (氏名) 前田 清美 一印</p>	<p>令和 年 月 日 午前 時 分 受付 午後 時 分 受付</p> <p>(受付印)</p> <p>発言順位No. 6</p>
---	---



番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
	<p>質問事項 新設図書館が完成するタイミングに合わせ、条例・規則や要項の見直しを</p> <p>①土佐町条例内、第7類第3章社会教育内の「土佐町立図書館の設置及び管理等に関する条例」には、蔵書に関する基準や運営上の目的などは明記されていません。他の市町村の条例内容を参考に調査をし、実際の運営に関わる図書館員を含め、会議を設け、新設図書館ができるタイミングで、「読書のまち」を意識した基準や方針を作成することを要望したいです。</p> <p>②また、新設図書館を設置するにあたり準備期間をどのように考えられているのか？</p> <p>今後、図書館協議会で話し合いがされるとのことですが、年間1000冊程度の新規登録が限度だという中で、図書の選定も含め早めの着手が必要なのではないでしょうか。その他の事前準備についても、図書館員から素案なども出されていると思いますが、今後どのような計画を検討されているのかお聞きしたいです。</p> <p>参考資料：土佐町図書館条例、地方自治研究機構 http://www.rilg.or.jp/htdocs/</p>	教育長
2	<p>質問事項 教育支援センターの活動内容と方針は？</p> <p>①現在の教育支援センターのあり方について、学校・保護者との連携の具体的な内容やどんな支援がどこで受けられるのか、開催されている会の議事録などで公開できるものはHP等にしっかりと掲載して頂きたいです。</p> <p>②教育支援センターは、形にとらわれず、必要な生徒に支援が行き渡るような制度だと思います。指導員と生徒の間で普段から信頼関係を築けるような体制作りも意識した運営をお願いしたい。</p>	教育長
3	<p>質問事項 学校外クラブ活動の送迎について</p> <p>体力や文化力向上だけではなく、子供達の育成には幅広い年齢層との繋がりも重要。学校内クラブの選択肢が少ない本町では、学校外クラブの充実が必須であるが、バスの運行に合わせての帰宅が難しく、送迎については保護者からも度々声上がる課題になっています。</p> <p>一般質問でも何度か取り上げられていますが、持続可能な取り組みの中に、学校外クラブの充実、誰もが気兼ねなく通えるような仕組みづくりが必要だと思いますが、今後の町の方針をお聞きしたいです。</p>	町長

◎この通告書は、定例会開会第1日目の散会時刻までに提出してください。

<p>発 言 通 告 書</p> <p>下記の通り、発言したいから通告します。</p> <p>令和7年3月4日</p> <p>土佐町議会議長 和田 賢二 様</p> <p>(議席番号) 10 番 (氏名) 澤田 智則</p>		<p>令和 年 月 日</p> <p>午前 時 分 受付</p> <p>午後 時 分 受付</p>
		<p>(受付印) 受付</p> <p>第 号</p> <p>7.3.4-</p> <p>土佐郡 土佐町 議</p>
		<p>発言順位No. 7</p>
番号	発 言 の 要 旨	答 弁 者
1	<p>質問事項 認知症のある方々の地域支援の強化について</p> <p>日本では認知症患者が増加しており、2022年時点で約443万人、2050年には約1000万人に達すると予測されています。特に2025年には「団塊の世代」が75歳以上となり、社会的・経済的な負担の増大が懸念されています。こうした状況を踏まえ、本町における認知症施策について以下のとおりお聞きします。</p> <p>① 本人ミーティングの導入 全国の自治体の約2割でしか実施されていない本人ミーティングは、認知症当事者が体験を共有し課題を話し合う重要な場です。土佐町での導入予定や実施方法についてお聞きします。</p> <p>② 行政職員と当事者の対話機会の拡充 現状、自治体職員が認知症当事者の生活の場に足を運ぶ機会が少なく、直接の意見反映が課題とされています。本町での取り組みや今後の計画についてお聞きします。</p> <p>③ 地域全体での認知症支援 認知症当事者の視点を活かした地域づくりが求められます。本町での具体的な取り組みや今後の方針についてお聞きします。</p> <p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (無)</p>	町 長
2	<p>質問事項 動物との共存を目指す有害鳥獣対策について</p> <p>有害鳥獣対策は農作物被害や生態系保全の観点から重要ですが、単なる駆除ではなく、共生を意識した持続可能な方法が求められます。本町の取り組みについて、以下のとおりお聞きします。</p> <p>① 生息環境の管理として、果樹や農作物の残渣処理、放棄地管理、森林整備を通じて鳥獣の生息環境を適切に維持し、人里への侵入を防ぐ施策をどのように進めているかをお聞きします。</p> <p>② 追い払いとゾーン管理の観点から、地域ぐるみでの追い払い活動や威嚇手法の導入、野生動物と人間の生活圏を分けるゾーン管理の導入予定についてお聞きします。</p> <p>③ また、地域コミュニティの活用として、住民の意識向上のための啓発活動や研修の実施、担い手不足を補う人材育成策についてお聞きします。</p> <p>④ ICTや新技術の活用として、IoTやドローンを用いた生息分布の把握、自治体や研究機関との連携による科学的な鳥獣管理の推進計画についてお聞きします。</p> <p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (無)</p>	町 長
3	<p>質問事項 地域担当職員制度について</p> <p>本町では、地域の課題解決に向けた取り組みとして、地域担当職員制度を導入しています。この制度は、自治体職員が特定の地域を担当し、住民と密接に関わりながら課題を行政と共有し、解決に向けて連携する仕組みです。</p> <p>全国の自治体では、①住民との信頼関係の構築、②縦割り行政の是正、③職員の能力向上やモチベーションの向上、④地域活性化の促進、⑤行政と住民の距離縮小といった効果が報告されています。住民との対話を通じて「顔の見える関係」を築くことで、相互理解が深まり、行政の支援策が迅速に伝わるようになります。</p> <p>一方で、課題として、会議の開催が休日や夜間になることによる職員の負担増加や、地域ごとの活動の温度差、信頼関係を築くための人材育成の必要性が挙げられます。これらを踏まえ、①制度の現状と成果の評価、②認識している課題、③課題解決に向けた改善策、④他自治体の事例を参考にした制度の発展策についてお聞きします。</p> <p>プロジェクター及びスクリーンの使用についてどちらか一方に○を入れてください (無)</p>	町 長

1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。